

## 綾部で広げるネットワーク

渡辺 有

第四回世界女性会議に参加した綾部の女性四名が呼びかけ人となり、今年の夏「ナチュラルネットワーク二十一世紀（NN21）」と名づけて仲間をつくり、十数名で発足しました。

時あたかも綾部愛ブリン見直し時期となり、大阪女性問題研究家の一人である森屋裕子さんの指導を受けてまとめ、十一月に市長へ提言したのですが、来綾の度に引き留めて夕方から数回にわたり、北京会議の意義・綱領・ジェンダー、リプロダクティブヘルツ・女性と政治等について学習させていただきました。

去る十一月二十四日に綾部市女性による手づくりの愛フェスティバルⅡを開催しましたが（小宮山祥子さん招聘）、ホール入口にNN21のメンバーで、女性の地位向上を目ざす紙芝居をつくって展示し好評を受けました。

今後、更に仲間の輪を広げ、学習も続けて五回会議参加を目ざしてエンパワーします。

（京都府女性の船同窓会）

## トピックス

### 「第6回市民国際交流賞」授賞に寄せて

栗田 澄子

平成8年4月4日、京都新聞社文化ホールに於いて、国際親善に尽くす京滋の市民に、京都新聞社から贈られる「第6回市民国際交流賞」の表彰式が行われ



れました。

その式典で、はからずも私がその栄をいただくことになり、身に余る授賞に感激と幸せを肌で受け止めながら参列致しました。

しかしこれは私一人のものではありません。周囲の皆様のお力添えと行政機関のご指導ご支援の賜でございます。

また毎日報道機関からの情報提供により、日常の暮らしの中で、知らず知らずの間に行動の方向づけをしていただいたこともいえます。

振り返って見ますと今日まで、宮津市友好姉妹都市を始め、アフリカ・ヨーロッパ・オセアニア・アジア各国と友好親善や研修を深めてきました。各国の文化の違いから特徴がそれぞれ魅力的で、数多くの事柄を学ぶことが出来たことを感謝しております。

このように外国の方々と接し強く心に残っていることは、「人間として幸せになりたい」という言葉でした。やはり人と人との「絆」の大切さと、開発途上国も先進国も共に同一ライン上で健康であり、心の豊かさが実感できる社会だと思えます。

地球社会に生きている私達は、今何ができ、何をしなければならないか。次年度への自分の行動を考えている最中です。

今後更に皆様のご指導をお願いし、今回の授賞に対して重ねて厚くお礼申し上げます。



## 食生活

酒井 素子

京都府女性海外研修への参加対象幅が広がりました年に、機会を得まして参加させて頂きました。訪問国は、ロシア・サンクトペテルブルグ・フィンランド・フランスの三ヶ国でした。振り返り今思います事は、私達が当たり前のように食してあります農産物が如何に立派な物であるかと言ったことです。ロシア等を出して頂きました野菜・果物は選別に至らないと思えます程の物であった様に覚えます。

今年の米の出来具合は等と、気に留める事なく警戒に口にすることが可能な今の日本。飽食に慣れ過ぎた私達。自給自足が当たり前であったお米まですら外国から輸入しなければならぬ農業情勢。その農業の姿がそのまま日本の伝統や食の文化、そして子供の教育の面にも波及しているのではと思えます社会です。

この現状を、一人ひとりがしっかりと心にとめ安心して過ごせる明るく二十一世紀を迎えられますように、強く願っております。

（京都府農業士会 女性農業士部会）

## 介護を通して思う事

小牧 恵子

早いもので、私が海外研修の一員としてデンマーク・ドイツ・フランスを訪ねて、七年もの月日がたちました。今日でも私の心に深く焼きついて残っている光景があります。それは平等に供与されている豊かな福祉の中で安心して生活をされていた老人の姿です。

デンマークの初めて民間経営としてスタートしたと言う老人ホームを見学しました。高齢者、身障者精薄者等を対象として、デイホームとデイセンターが併設されており、近辺からの通院と入園者共々とても明るい雰囲気です。当時の日本のホームとは比較にならないものでした。私も当時痴呆の夫の父を介護していました。嫁として人様にうしろ指をさされない様世間の目をいつも気にし、父の意志等無関係。忙しい忙しいの連発、痴呆老人を抱えた気の毒なお嫁さんを演じていました。一人の人間としての介護を知りませんでした。

高齢者や身障者の人が人間として自立した生活をする為に私達が何を手伝い、又どの様に接すればよいか、じつと待つ事の大切さ、相手が何を望んでいるかを見極める事の必要性を学ばせてもらいました。研修後は父が生きている事すらしさが実感出来る様考え、ボケの進行をとどめられるかを考えられる様に気持ちも大変案になり、世間を気にする事なく公的福祉を利用して頂きながら、両親を送る事が出来ました。

この体験を生かし、団体の中、時には友人に又知人と語り、「この町に住んでよかったと実感出来る様なふれあいの輪造り、地域づくりを目ざして頑張っております。

（京都府連合婦人会）